

キャラクター名  
愛葉 花潤

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ソラリス	ワークス	レネゲイドビーイングB	カヴァー	第三王女
オプション		年齢	???(外見は16)	性別	女
覚醒	償い	衝動	自傷	初期侵食率	39 %
出自	地球外生命体	経験	煩悶	邂逅	借り

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	0	1			1	行動値	4
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	6	0	0			6	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達	3	
運転:			芸術:ピアノ	7		知識:ウェブ	2		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
茨の冠	
パーソナルモビリティ	
メモリー:先代	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
古代種	P	N		
愛葉 花燐	P 慕情	N 悔悟		
部下	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 18 残り財産P: 13

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1	(5)	常時	至近	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定のダイス+[Lv]個								
女王の降臨	1	5	セットアップ	至近	自身	自動	ピュア	
効果: メジャーアクションをセットアップで行える シナリオLv回								
オリジン:サイバー	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: シーン中、【社会】の達成値+[Lv*2]								
癒しの水	7	2	メジャー	視界	-	RC		
効果: HP[(Lv)D+【精神】]点回復する								
ローマの雫	5	3	メジャー	-	-	RC	リミット	
効果: 《癒しの水》では更にHP[Lv*5]点回復する 自分を対象に出来ない								
狂戦士	1	5	メジャー	視界	単体	RC	80	
効果: 対象の次のMAのC値-1(6)、ダイス+[Lv*2]個								
ポイズンフォッグ	2	3	メジャー	至近	範囲(選択)	S		
効果: 対象と射程を変更する シナリオLv回								
ラストファクトリー	1	6	メジャー	視界	シーン(選択)	-	120,自傷	
効果: 対象の戦闘不能を回復し、HPを[Lv*3]D点回復する その後自分はHPが0になる シナリオ1回								
デジャヴ	1	2	メジャー	至近	自身	-	Dロイス	
効果: GMに直接質問できる シナリオLv回								
ファークンタクト	1	1	オート	至近	自身	自動	RB	
効果: シーンに登場する。自分の分身を自分の代わりに登場させる								
奇跡の雫	1	6	オート	視界	単体	自動	100	
効果: 対象の戦闘不能を回復し、HPを[Lv*5]点回復する								
アクアウィター工	1	10	オート	視界	単体	自動	120	
効果: 対象の戦闘不能を回復し、HPを[Lv*10]点回復する								
帰還の声	1	6	オート	視界	単体	自動	ピュア	
効果: 対象の持つエフェクトの使用回数を+1回する シナリオ1回								

【詳細】  
 愛葉帝国の第三王女。自分の足に呪いがかけられるのと引き換えに、王女の権利を手に入れた。第三王女はそういう呪いと引き換えに地位を継承しているのだ。偽善的な性格をしていて自分を天才だと考えているが、予想外の事態には弱い。自己肯定感高め  
 愛葉帝国では司法長官のような地位についている。色々な場所に自分の分身を派遣しているので仕事効率は良い  
 第二王女との仲の悪さは王国の中でも有名で、二人をなるべく同じイベント・同じ場所に行かせないように綿密なスケジュール管理が為されている(セパラスの手によって)。顔を合わせれば喧嘩するというより、花燐は委縮して花潤が明らかに不機嫌になるのでとても空気が悪くなる。  
 ただ、実のところ花潤は花燐のことが好きすぎてそういう態度になってしまっているだけ

昔、花潤が大怪我をしたときに同じ場所にいた花燐が謝ってきたことがある。別に花燐が何かしたというわけではないのだが、守れなかったことを謝っていた  
 対する花潤は『なんで悪くないのに謝るんだ。守ってなんて頼んだわけじゃない。そんなことで責任を感じないでくれ』という拗らせた考えで逆ギレした。尚その考えは口にしていない  
 花燐は今でも花潤が許していないと思って事あるごとに居心地悪そうにしたり謝ったりするのだが、花潤からすれば「自分が悪いんだから謝らないでくれ。姉さんは堂々と僕をしかりつけてくれればいいんだ。なんでこんなことを僕はさせているんだ……」という自己嫌悪が湧いてくるので不機嫌になる。さっと謝ってしまえばいいのだが、できたことがない  
 花燐のことが好きすぎて現実と乖離した理想を持ってしまい、仲良くできずにいる

名前:愛葉 花潤  
 ■ステータス  
 HP最大値:24 行動値:4  
 常備化P: 財産P:13  
 戦闘移動:4 全力移動:9  
 侵蝕率基本値:39

